

ご あ い さ つ

本市では、2007年（平成19年）12月に制定した「福山市環境基本条例」に基づき、「福山市環境基本計画」を策定し、環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進して参りました。

この間、自然災害が頻発するなど、気候変動の影響が顕在化するとともに、本格的な人口減少や少子高齢化の進行など本市を取り巻く社会情勢が変化する中で、温室効果ガスの排出抑制や食品ロスの削減、プラスチックごみの削減・資源化、生物多様性の保全などの様々な環境問題が生じています。

2015年（平成27年）には、国連サミットで持続可能な開発目標（SDGs）を掲げた「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。我が国でも2020年（令和2年）10月の「2050年カーボンニュートラル宣言」を皮切りに、気候変動やエネルギーに関して各種法令や計画に位置付けられるなど、脱炭素に向けた動きが加速しています。

こうした中、本市は、2023年（令和5年）2月に「ゼロカーボンシティ」を宣言し、2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロをめざすこととしました。また、同年5月には、国から「SDGs未来都市」に選定され、多様な主体が参画し新たな価値を創造する「持続可能なまち」の実現をめざしていきます。

持続可能な社会を未来の世代に引き継いでいくためには、多様化する環境問題を迅速に解決していく必要があります。このたび現行計画を見直し、「第二次福山市環境基本計画（第2期計画）」を策定しました。

本計画に基づき、市民、事業者、行政が一体となって、「みんなで創り 未来につなぐ 豊かな自然と快適な暮らしが調和したまち 福山」の実現のため全力を尽くして参りますので、皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

最後に、本計画の策定に当たり、多大な御尽力や貴重な御意見を賜りました福山市環境審議会委員の皆様を始め、福山市地球温暖化対策協議会委員の皆様、貴重な御意見や御提言をいただいた市民、関係者の皆様に対し、心から感謝申し上げます。

2024年（令和6年）3月

福山市長 枝広 直幹

